

事務事業評価表(内部管理事務)

(評価対象：令和 2 年度)

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-1	美濃市立美濃病院経営安定化プラン継続策定	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	春田・鶴飼泰
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15	美濃病院の安定経営の維持	
	施策名(評価単位)	(40)	美濃病院の安定経営の維持	

2. 事務事業の目的	美濃病院に課せられた役割を明確に示すとともに、地域における良質な医療を継続して提供できる体制を保持します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ◆経営安定化プランの検証を行いました。 ◆収益に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・X線透視撮影装置、ナースコールシステム、人工呼吸器などを更新し、業務の効率化及び安全性の向上に努めました。 ・在宅医療支援センター、地域支援室との協働により、入退院患者及び在宅患者とその家族に対する相談、支援の充実を図りました。 ・コロナ関連の国庫補助金の確保に努めました。 ◆経費に関する事 <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤・診療材料の見直しを図り、費用を削減しました。 ・後発医薬品への切り替えを促進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	500,000	500,000	500,000	500,000
② 人件費	8,625,000	8,625,000	8,625,000	9,000,000
③ 合計コスト ①+②	9,125,000	9,125,000	9,125,000	9,500,000
前年度比		100.0%	100.0%	104.1%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源			
	一般財源	9,125,000	9,125,000	9,125,000
④ 活動一単位当たりコスト	90,931.7	90,949.9	90,436.1	94,152.6
前年度比		100.0%	99.4%	104.1%
⑤ コストに関する増減理由				

(3) 活動指標	指標名	経常収支比率			単位:	%
	指標説明	病院活動による収益状況				
	実績値	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
		100.35	100.33	100.90	100.90	

4. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・病院経営安定化プランに基づいた取り組みにより、引き続き黒字決算となりました。 ・建物が築15年以上経過しており、老朽化による修繕費等の増額が見込まれます。 ・新型コロナウイルス感染症による機能不全に陥ることがないように感染対策を講じる必要があります。
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・増築した健診棟を計画的に活用し、健診率の底上げを図るとともに、「地域包括ケア病棟」を活かし、急性期から回復期までの入院患者の受け入れなど幅広い病床機能の運用により、稼働率を維持し、収益確保に努めます。 ・薬剤・診療材料など継続的な経費の見直しを図ります。 ・新型コロナウイルス関連の補助金を活用し、感染防止対策を図ります。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	井川 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> ・美濃病院経営安定化プランの方針及び目標値の達成を目指し取り組んだことで、黒字決算となり事業の成果がありました。 ・安定経営を維持しながら、充実した医療サービスを提供していくためには、プランの継続策定は必要と考えられます。国からのガイドラインが示され次第、新たなプランの策定を実施することとします。 		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 2 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-2	医療機器の計画的整備	担当課	美濃病院事務局管理課
			作成者	市原・春田
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15 美濃病院の安定経営の維持		
	施策名（評価単位）	(40) 美濃病院の安定経営の維持		

2. 事務事業の目的	医療水準向上のため、現在未整備である新規医療機器の導入を進めるとともに、老朽化した機器を限られた予算の中で計画的に更新します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	<p>更新した医療機器 ○エア式骨手術器械 ○X線透視撮影装置 ○クリーンパーテーション ○会計番号表示システム ○RO装置 ○透析用B剤溶解装置 ○与薬車 ○検温アラームシステム ○ベッドサイドモニタ ○ハイローストレッチャー ○細隙灯用CCDカメラ ○ポータブルスリットランプ ○人工呼吸器 ○手術室・外来ビデオシステム ○膀胱腎盂ビデオスコープ ○ナースコールシステム ○解析付心電計 ○個人用多用途透析装置 ○シリンジポンプ ○超音波画像診断装置 ○離床センサー内蔵超低床電動ベッド ○全自動遺伝子解析装置</p> <p>平成15年度（新病院移転時）に購入した100万円以上の医療機器、医療情報機器のうち今年度は金額ベースで8%更新しました。なお、全体では76.5%の更新が終了しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
① 直接事業費	103,974,800	178,774,400	90,326,350	39,864,000	
② 人件費	7,875,000	8,625,000	8,625,000	8,625,000	
③ 合計コスト ①+②	111,849,800	187,399,400	98,951,350	48,489,000	
前年度比		167.5%	52.8%	49.0%	
財源内訳	国・県支出金	0	2,640,000	9,445,000	0
	市債	0	127,200,000	22,300,000	0
	その他特定財源	0	0	13,516,000	8,250,000
	一般財源	111,849,800	57,559,400	53,690,350	40,239,000
④ 活動一単位当たりコスト	18,336,032.8	24,986,586.7	12,368,918.8	14,693,636.4	
前年度比		136.3%	49.5%	118.8%	
⑤ コストに関する増減理由	令和2年度は、医療機器購入費が減少したため、合計コスト及び活動一単位当たりコストが減少しました。 （令和元年度に医療情報システムを購入）				

(3) 活動指標	指標名	医療機器更新率の上昇値			単位	%
	指標説明	新病院移転時の更新対象医療機器を基準に金額ベースでの更新率の上昇値を算出				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	6.1	7.5	8.0	3.3	

4. 評価・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院内の各部局の意見聴取や医療機器の点検等により、老朽化した機器の更新、新規購入ができました。 ・ 耐用年数を著しく過ぎた機器については故障のリスクが高まり、緊急の購入や修繕の要因となります。多くの機器が購入から10年以上経過している中で、計画的更新を進める必要があります。

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化、機能性等を視野に入れ、今後、担っていくべき診療機能にふさわしい医療機器の計画的更新を目指します。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	井川 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度も引き続き質の高い医療の維持と向上を目標に掲げ、医療機器の整備及び更新を進めてきました。 ・ 医療機器の購入及び施設の修繕を計画的に行い、患者満足度向上につながる成果を出すことを目標とします。 		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-3	健診メニュー及び予防医療の充実		美濃病院事務局管理課
				鶺鴒・亀山・杉政・江崎
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類	4医療
	総合計画上の施策名	15 美濃病院の安定経営の維持		
	施策名（評価単位）	(40) 美濃病院の安定経営の維持		

2. 事務事業の目的	受診環境整備及び受入体制の充実により市民の健康維持・増進を推進します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和2年度）	<ul style="list-style-type: none"> 内容や費用額の検討を進めていた国保ドックを新規内容に変更し運用を開始しました。 市内の大手健診未受診企業に“おためし健診”の案内を送付し受診契約を獲得・実施しました。 新型コロナウイルス感染症に対する問診票を作成し全受診者に配布し来院時に内容を確認するとともに、フェースシールドやアクリル製シールド（衝立）を設置し受診者及び健診スタッフの安全を確保しました。 国からの委託事業である第五期風しん抗体検査・接種を健診と同時に実施しました。（継続） 市内企業に対してインフルエンザワクチンの出張接種を行いました。（継続） 保健センターと共同し市民の方を対象にからだ改善プロジェクトの実施をしました。（継続） 平日受診できない方の為に、休日に総合健診および乳がん検診（マンモサンデー）を実施しました。（継続）

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込
① 直接事業費	1,194,990	1,027,993	1,466,565	1,200,000
② 人件費	18,000,000	18,375,000	16,500,000	20,625,000
③ 合計コスト ①+②	19,194,990	19,402,993	17,966,565	21,825,000
前年度比（％）		101.1%	92.6%	121.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	19,194,990	19,402,993	17,966,565
④ 活動一単位当たりコスト	362,169.6	352,781.7	315,202.9	369,915.3
前年度比（％）		97.4%	89.3%	117.4%
⑤ コストに関する増減理由 （R2年度実績、R3年度見込）	令和3年度は、新規採用職員及び育休明けの職員増による人件費が増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	事業所への訪問、電話打合せ回数			単位：	回数
	指標説明	訪問・依頼に応じて話し合いをした回数				
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	
	実績値	53	55	57	59	

(4) 成果指標	指標名	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類			単位：	個	評価：	+
	指標説明	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類の増加						
	目標値の設定方針	前年度と同値						
		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込			
	目標値	79	83	83	84			
	実績値	82	82	84				
達成度（％）	103.8%	98.8%	101.2%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	B
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No	1		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 市内大手企業よりおためし健診についての問い合わせがあり健診内容を説明。実施の契約をいただいた（50名以上の方が受診された）。 新・国保ドックの運用を開始し、多くの市民の方に受診していただいた（前年度6名の受診者が本年度145名に増加した） 新型コロナウイルス感染症への不安を払拭するために国のガイドラインに沿った対応を実施したが、岐阜県または市内の感染状況に応じた対策をいかに迅速に行うかについて課題が残った。 	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和3年4月
<ul style="list-style-type: none"> 新・国保ドックの補助対象が一部の年齢の方限定であるため、働き盛りの年齢の方へ受診枠を広げるよう市に働きかける必要があると考えます。 市内企業へのインフルエンザ予防接種が継続実施できるようワクチン手配を院内薬局に早期依頼するよう心掛けることが重要であると思います。 新型コロナウイルス感染症対策のため、受診環境整備と国のガイドラインに沿った感染対策を整えていきます。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	井川 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> 健診事業については受診者数も増加しており受診企業及び各受診者の方から高い評価をいただいています。今後も継続した評価を得るために、みの健康管理センターによる受診環境整備、健診メニューの充実や二次検査未受診者への対応（受診勧奨）を継続して実施します。 新型コロナウイルス感染症対策への迅速かつ適切な対応を実施します。 			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	